

ダスト惑星間

～塵もつもれば〇〇となる!?!～

太陽系には、惑星やその衛星など大きな天体のほかに、彗星や小惑星といった小さな天体も存在することが望遠鏡で観測できます。また、さらに小さくなると、石ころサイズの天体も存在することが隕石の落下から想像できます。では、いったいどの程度まで小さな天体が太陽系の中には存在するのでしょうか？

本講演では、世界最大の望遠鏡でも見ることはできないが、実は肉眼でも見える小さなダスト（塵）にフォーカスをあてます。なぜかのように、一説では飛鳥時代に詠まれた和歌にでてくる「かぎろい（陽炎）」がダストをさすのではという考えもあり、古代から認識されているものです。太陽系以外の惑星系も含めて宇宙に存在するダストの観測についてお話します。また、神山天文台で進行中のプロジェクトも紹介します。



講師紹介

さるかき ゆうき
猿楽 祐樹

京都産業大学 神山天文台 主任研究員
東京大学地球惑星科学専攻を修了後、東大木曾観測所、JAXA 宇宙科学研究所を経て現職。専門は太陽系小天体の観測的研究。太陽系やそれ以外の惑星系の成り立ちも調べるため、これまでにない高い性能の赤外線高分散分光器を神山天文台にて開発中。

2018年

3/24 [土]

予約不要
入場無料

15:00 - 16:30

会場

京都産業大学
サギタリウス館5階 S509 教室

夜間は天体観望会を開催します（19:00～21:00）。※悪天候時は宇宙の3D映像上映会を開催

対象 小学生以上の方

主催 京都産業大学 神山天文台 後援 京都市教育委員会

その他 講座終了後には「アストロノミー・カフェ」（16:30～17:30）を開催します。

お茶を飲みながら講師と気軽に会話を交えて頂けますので、どうぞご参加ください。

問合せ 京都産業大学 神山天文台 ☎ 075-705-3001 🌐 <https://www.kyoto-su.ac.jp/observatory/>



おすんで、うみだす。
京都産業大学